

教育目標		「心豊かでたくましい子どもの育成」 ～いきいき・わくわく・そろって・のびよう・いわそのっ子～									
学校経営の基本方針		①学習指導要領の確実な実施。②教員の授業力向上とICTの効果的な活用における授業改善を進める。 ③「働き方改革」を推進し、教員が子どもと向き合う時間の確保を図る。 ④「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域と学校の連携・協働を推進する。							総合評価		
学校運営の柱		◎確かな学力をつける（知） ◎豊かな心情を育てる（徳） ◎たくましい体力・気力を養う（体） ◎自他の人権を大切に（人権）									
前年度の課題		・学習習慣の定着 ・児童の積極的なあいさつ ・廊下、階段歩行 ・読書の推進 ・体育的取組の充実									
本年度の重点目標		・あいさつの奨励・読書の推進・わかる楽しい授業づくり・体力の向上							B		
評価項目	具体的目標 (評価小項目)	評価 番号	○具体的方策・●評価指標等	教員 ※	保護 者※	児童 ※	評 価		成果と課題（評価の分析）	課題の改善策等	
学校経営 全般	組織力の強化	1	○各分掌部における、共通理解に基づいた積極的な取組の推進 ●教ア 肯定的回答 A:90%以上 B:70～90%未満 C:70%未満	1			A	A	○「各分掌における共通理解に基づいた取組」については、A評価の割合が昨年度より上昇しており、各分掌を中心とした取組を進めることができた。 ○「子どもとのコミュニケーション」については、児童、保護者とも肯定する割合は多いが、保護者1割が適切でないという結果が続いている。そのことを真摯に受け止めて取り組まねばならない。 ○「ICTの効果的な活用」については、教員・児童共に、積極的な取組が進められたと考えている。更に効果的な活用を進めていきたい。 ○「教職員の服務規律・職務意識の向上」については、年々職員意識向上が見られ、責任感を持って誠実に職務に専念することができている。ほとんどの場合時間厳守はできているが、アンケートにC回答もあり課題が残る。 ○「働き方改革の推進」については、昨年度より肯定的な回答が増え、職員の意識向上や、具体的な業務の見直し（打ち合わせ時間の軽減、校務支援システムの活用、会議ペーパーレス化、スクールサポートスタッフの運用等）も進めている。勤務時間については最終退勤時刻を過ぎることがあり、D評価もあるが、概ね効率的に業務に従事することができている。今後、教職員としてどのような働き方が望ましいのかも検討していく必要がある。 ○「保幼小中の交流・連携」については、幼稚園、保育所と児童と園児の交流を数回行った。夏季休業中に合同研修にも参加することができたが、交流や研修の内容を校内に広げ、共有することは十分できなかった。 ○地域連携については、登下校立哨に加え、学校内で子どもと共に読書活動や教育活動への協力をいただいた活動を進めることができた。今後も協力・連携いただける機会を増やし、取組を進めていきたい。 ○「物品管理の充実」については、概ね適切な活用がされているが、計画的な活用や、破損、不足などの対応が適切にされていない状況もある。また、物品の整理等についても人任せになっている状況があり、個々が責任をもって行うことに課題が残る。	○分掌部会、学年、ブロック研修等、それぞれが機能的に活動し取組を進めているが、各々の連携を強め、学校チーム力の向上に努める必要がある。そのために、見直しを持った計画を進め、効率よく連携を図ることに努める。また、チーム力向上が働き方改革に繋がるよう教職員の主体的な働き方を目指す ○「自ら学ぶ」、子どもと共に「楽しく学ぶ」教職員として、次年度も個々の資質向上を目指し、日々OJTを充実させ、指導力の向上に努める。 ○若手教員を含め、全ての教職員が意欲を持ち、互いに支援・助言し合って共に学んでいく姿勢を持ち、協働・連携を図りながら学校全体の教育力の向上に努める。 ○子どもに寄り添ったきめ細やかな指導・支援に努めることで、安心して学べる学校創りを目指す。 ○職務規律や時間厳守については、一人一人の自覚を高め校務に取り組む。会議や作業について等、それに必要な時間も含めて計画できるよう進め、働き方の向上にもつなげたい。 ○保幼小中の連携については、教務部や担当学年に任せているところが大きい。連携の内容を共通理解して学校全体の取組としていきたい。 ○財務管理は学校運営に大きく影響する。教頭、事務職員を中心に各学年や各分掌との連携を密にしながら、今後も適正な財務管理を行っていきたい。 ○破損、不足等の連絡を速やかに行うよう随時確認し、個々の管理意識を徹底する。	
	教員の資質向上	2	○子どもと円滑なコミュニケーションを図る ●児ア 保ア 肯定的回答 A:85%以上 B:65～85%未満 C:65%未満		3	2	A	A			
	ICTの効果的な活用	3	○ICTを効果的に活用した取組を積極的にすすめる ●教ア 児ア 肯定的回答 A:85%以上 B:65～85%未満 C:65%未満	3		4	A				
	服務意識の向上	働き方改革	4	○校内における働き方改革を推進する ●教ア 肯定的回答 A:85%以上 B:65～85%未満 C:65%未満	4			B		A	
		職務意識の向上	5	○服務規律と時間厳守の徹底 ●教ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:65～85%未満 C:65%未満	2			A			
	地域連携	保幼小中連携	6	○保幼小中との教職員間の交流実施 ●各校園所との交流 A:昨年度以上 B:昨年度通り C:昨年度未満				B		B	○財務管理は学校運営に大きく影響する。教頭、事務職員を中心に各学年や各分掌との連携を密にしながら、今後も適正な財務管理を行っていきたい。 ○破損、不足等の連絡を速やかに行うよう随時確認し、個々の管理意識を徹底する。
	財務	物品管理の充実	7	○教材・教具、備品を適切に活用する ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60～80%未満 C:60%未満	5			A		A	
8			○保護者負担の軽減を考慮している ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60～80%未満 C:61%未満	6			A				
校内研究部	基礎学力の向上	授業力の向上	9	○児童にとってわかりやすい授業づくり ●教ア 児ア 保ア 肯定的回答 A:85%以上 B:70～85%未満 C:70%未満	7	5	3	A	○授業力の向上については、研究テーマ（書くことにつながる指導の工夫）に沿って教員全員が公開授業と研修を行うことで、一人一人のスキルアップを図ることができた。また、学んだことを授業づくりに活かすことができた。 ○ブロック研修を第2木曜日と設定することで、計画的に研修をもつことができた。また、指導案の検討やスキルタイムの交流など、低中高それぞれの系統立てた研修を行うことができた。年2回（7月と2月）、1、2、3年ブロックと4、5、6年ブロックで研修を持つことで、低学年から中学年、中学年から高学年の繋がりができた。 ○スキルタイムを通して漢字の読み書き、計算力などの基礎学力が身についた児童が多い。しかし、漢字や計算の力がついていない児童もアンケートでは7.1ポイントいる。また、4.8ポイントの児童が授業がよく分からないと回答している。低学力児童に基礎的な力をつけることが課題である。 ○算数の個人別カルテを作ることで、児童の基礎的な力を把握でき、個々に対応することができた。しかし、まだまだ有効的に活用することができていないので、今後の見直しが必要である。 ○家庭学習の啓発は家庭訪問や個人懇談等を通して行うことができたが、家庭での学習習慣が定着するまでには至っていない。引き続き家庭と児童に家庭学習のやり方や必要性を伝えていくことが必要である。	○ブロック研修を来年度も計画的に行う。学年研修を持つ時間が取れなかったため、年間計画に組み込んでおく。 ○スキルタイムでは、引き続き内容を絞ったプリントを用意する。算数では、四則計算に内容を絞り、百マス計算(和・差・積)のプリントとわり算の計算プリントをする。国語は、全学年の漢字の読み書きの定着をねらいとしたプリントをする。そうすることで個々に応じた力をつけさせることができると考える。 ○算数個人別カードを引継ぎ、特に低学力児童については基礎的な計算の力が身につくように個別に指導を行う。 ○算数テストで80点以下の児童に対しては、確実にやり直しをさせた後、再テストを行う。 ○家庭訪問、参観、学級PTAなどの機会を使って保護者への家庭学習の啓発を引き続き行う。 ○宿題を出す目的を考え、出したからには責任をもって見直し、理解できていない児童に対しては休み時間や放課後の時間を利用してやり直しをさせるなど確実に力をつけさせる。	
		校内研究及び公開授業の充実	10	○国語科を中心とした授業研究の充実 ●教ア 肯定的回答 A:85%以上 B:65～85%未満 C:65%未満 ●研究及び公開授業の実施状況 肯定的回答 A:100% B:100～85% C:85%未満	8			A			
			11	○国語科を中心とした研修の充実 ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:65～80%未満 C:65%未満 ●ブロック別研修を含む研修の実施回数 A:10回以上 B:9～8回 C:7回以下	9			A			
		学習習慣の確立	12	○基礎学力をつくるための取組 ●教ア・児ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:70～85%未満 C:70%未満	10		5	B			
			13	○家庭学習の啓発 ●教ア・保ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:65～85%未満 C:65%未満	11	6		A			
人権教育部	人権意識の向上	自他を大切に 集団づくり	14	○教職員と保護者が連携を取りながら、人権意識を高める努力をしている。 ●教ア 肯定的回答 A:85%以上 B:60～85%未満 C:60%未満	12			A	○「教職員と保護者の連携」については、肯定的回答が90%を超えているためA評価とした。昨年度より数値が上がリ、連携して取組を進めている意識は向上していると言えるのではないかと。今年度は、地区別懇談会を開催できたことも向上の要因であると考え。 ○「自分と同じように相手のことを大切にしている」については、肯定的回答が95%以上であったためA評価とした。ただ、4%の児童は「自分や相手を大切にしたい」と思っており、児童の気持ちに寄り添った取組を進めなければならない。 ○「人権教育の課題について個々に研鑽し、授業づくりに生かした」についてはほぼ95%であった。評価はAであるが、昨年度より肯定数値は下がっており、研修で深めた知識や実践を生かして生かしていない悩みもある。今後、より実践に生かせる授業研修に努めなければならない。 ○「個に応じた合理的配慮」については肯定的回答が約97%であった。なかよし学級の習熟度別学習を始めたことで、児童に合った指導・支援がより進められており、個別の指導の場でも集団での活動の場でも合理的配慮も進められている。今後も、一人一人の特性に応じた配慮を続けていきたい。 ○「誰もが認められ、安心して過ごせる学級づくりに努めている」については、肯定的回答がほぼ100%だった。今後もこの結果に満足せず、より児童が安全に安心して過ごせる学校づくりに努力する必要がある。		
			15	○自分と同じように相手のことを大切にしている ●児ア 肯定的回答 A:90%以上 B:70～90%未満 C:70%未満			6	A			
		人権教育に関する研修の充実	16	○人権教育の課題について個々に研鑽し、授業づくりにいかしている ●教ア 肯定的回答 A:85%以上 B:60～85%未満 C:60%未満	13			A			
	特別支援教育の充実	個に応じた支援	17	○ひとりひとりの課題を把握し、個に応じた支援や合理的配慮に努める ●教ア 肯定的回答 A:90%以上 B:60～90%未満 C:60%未満	14			A			
特別支援体制・環境づくり			18	○誰もが認められ、安心して過ごせる学級環境づくりに努める。 ●教ア 肯定的回答 A:90%以上 B:60～90%未満 C:60%未満	15			A			

生徒指導部	基本的生 活習慣の 向上	あいさつの励行	19	○自ら進んであいさつをする子どもの育成 ●児ア・教ア・保ア 肯定的回答 各A:85%以上 B:65~85%未満 C:65%未満	16	2	7	B	B	○挨拶の励行については、保護者、児童、教員アンケートすべてにおいて数値は向上していた。各委員会での挨拶の啓発もあり、挨拶をしようと意識している児童が増えた。しかし、自分から進んで挨拶するまでは達していないと考える。 ○廊下・階段歩行については、児童、教員アンケートともに数値は向上していた。委員会などからの啓発や階段の踊場にラインを引いて視覚的に訴えかけたこともあり、正しい歩行を意識している児童が増えた。しかし高学年を中心に走っている様子が見られるため、さらに各学級での徹底した指導も大切であると考えます。 ○清掃については、すべてのアンケートで数値は向上していた。縦割り清掃にしたことで、それぞれの学年の意識が高まったと考える。しかし、時間いっぱい掃除をすることを徹底できていない所もあった。 ○支援を必要とする児童への対応について、いじめ対応についてもアンケート結果はどの項目においても設定していた数値よりも高い数値を示した。しかし、児童アンケートの中には、友だちと仲良く過ごしているという項目で否定的な回答があった。また、教員、保護者アンケートでは、関係機関との連携、保護者との連携において否定的な回答もあった。	○挨拶については、引き続き委員会などからの啓発をしながら、学校だよりや学年だよりで挨拶の取組について保護者に発信し、家庭でも挨拶を意識して声かけしてもらうように呼びかける。 ○廊下・階段歩行については、委員会などからの啓発と共に、全職員がその場で徹底した指導をすることが必要である。また、安全に過ごすためにどうすればよいのか考えさせながら、廊下・階段歩行に対する意識を高めて、正しい歩行を目指す。 ○清掃では、引き続き縦割り清掃を行いながら、学校全体を美しくしようとする意識を高める。また、時間いっぱいすみずみまで掃除ができるよう教員の中での共通理解を図る。 ○支援を必要とする児童への対応についても、いじめ対応についても、肯定的解答が100%になるよう、児童の様子を注意深く観察しながら、全職員で児童を育て、みんなが安心して過ごせる学校を目指す。また、保護者や関係機関との連携を密にし、その全体像が可視化できるように、教育相談を活用する。
		廊下・階段歩行	20	○安全を意識した廊下・階段歩行 ●児ア・教ア 肯定的回答 各A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満	17		8	B			
		掃除への取組	21	○時間いっぱい掃除することや、掃除の後始末の点検 ●教ア・児ア 肯定的回答 各A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満	18		9	A			
	教育相談 体制の充 実	支援を必要とする児童への 対応	22	○児童支援委員会で共通理解及び適切な対応に努める ●教ア 肯定的回答 A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満	19			A			
			23	○関係機関や保護者との連携を密にする ●教ア・保ア 肯定的回答 各A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満	20	4		A			
		いじめ対応	24	○アンケート等の実施による未然防止・早期発見 ●教ア 肯定的回答 A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満	21			A			
25	○いじめを許さない、見逃さない学級づくり ●児ア 肯定的回答 A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満				10	A					
文化部	特別活動 の充実	学級活動の充実	26	○児童の学級活動への主体的な参加 ●教ア 児ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	22		11	A	A	○全学級で週1回以上の学級活動の時間を確保できた。児童は学校・学級の一員として、係や当番など役割をはたしているという実感をもっている。 ○感染症対策が緩和されて以降、様々な内容で20回の児童集会を行った。たくさんの人前で発表することは、達成感ややりがいを感じる経験となった。また、児童集会に参加することは、異年齢交流の場となっただけでなく、時間を意識して行動することや聞く態度を養うことにつながった。 ○また、感染症対策が緩和されたことで、委員会活動を活発に動かすことができた。児童の意識が学校全体へ向かい、それぞれの委員会で工夫を凝らした活動を行うことができた。高学年の活躍の場となった。	
		児童会活動の充実	27	○児童集会への主体的な参加 ●教ア 児ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	23		12	A			
			28	○児童の委員会活動への主体的な参加 ●教ア・児ア(5・6年) 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	24		13	A			
	読書意欲 の向上	読書活動の充実	29	○読書習慣をつけるための取組 ●児ア・教ア・保ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	25	7	14	C			
			30	○読書環境の充実 ●教ア 児ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	26			A			
		豊かな心 情の育成	芸術的行事の充実	31	○児童の文化的行事への積極的な参加(校内音楽会・芸術鑑賞会・校内作品展等) ●保ア・児ア 肯定的回答 各A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満		8	15			A
32	○掲示物の充実 ●学年掲示板的のほりかえ回数 各学年 A:7回以上 B:5回~6回 C:4回以下						A				
保健体育部	体力の 向上	体育科授業の充実	33	○児童が主体的に参加でき、運動量が確保された授業の工夫 ●児ア・教ア 肯定的回答 各A:90%以上 B:70~90%未満 C:70%未満	27		16	A	B	○体育の授業に教師は工夫して取り組み、児童は、体育の授業に進んで取り組んでいた。 ○備品の点検等、運動を安全に楽しむための環境を整えることができた。 ○教師が積極的に声をかけることで、児童は外遊び集会に進んで参加することができた。 ○教師は外遊びを奨励するように努めていたが、外遊びを進んで行う児童は少なかった。体育の授業や外遊び集会での取り組みが外遊びの推進につながっていなかったと考えられる。	
		体育的取組の充実	34	○外遊び集会(鬼ごっこ大会、ドッジボール大会等)への積極的な参加 ●教ア・児ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	28		17	A			
			35	○外遊びへの積極的な参加 ●教ア・児ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	29		18	B			
			36	○運動を楽しむための環境整備の充実 ●教ア 肯定的回答 A:80%以上 B:60~80%未満 C:60%未満	30			A			
学校関係 者評価	<ul style="list-style-type: none"> 学校として、良い環境を作って、教育活動を進めてもらっていると思う。今後もしっかり取り組んでほしい。 学校行事を再開でき、子どもたちが様々な活動に取り組めたことは大変良かったと思う。子どもたちが楽しく取り組み、学校に行きたいと思うように活動を進めてほしい。 挨拶については、地域によって、できていたり、できていなかったりしている。全校で取り組めるよう進めてほしい。 学校と地域が協力できているところが磐園小学校のためになっている。これからも協力して学校教育を盛り立てていきたい。 										

《児童用アンケート》

2023令和5年度
大和高田市立磐園小学校

A:そう思う B:どちらかといえば、そう思う C:あまり思わない D:思わない

単位は人

()は昨年度 %

質問	A	B	C	D	計	A	B	C	D
1 ①学校は楽しい。	192	89	20	7	308	62.3 (59.8)	28.9 (30.3)	6.5 (8.5)	2.3 (1.5)
2 ②先生は、悩みやトラブル等に、親切に対応してくれる。	225	73	8	2	308	73.1 (73.6)	23.7 (21.7)	2.6 (4.3)	0.6 (0.3)
3 ③授業はよくわかる。	200	93	13	2	308	64.9 (64.3)	30.2 (30.9)	4.2 (4.2)	0.6 (0.6)
4 ④クロームブックを使って学習に取り組んだ(できた)。	237	58	12	1	308	76.9 (80.1)	18.8 (16.4)	3.9 (2.3)	0.3 (1.2)
5 ⑤漢字や計算の力がついたと感じる。	181	105	18	4	308	58.8 (59.2)	34.1 (31.5)	5.8 (8.5)	1.3 (0.9)
6 ⑥自分と同じように相手のことを大切にしている。	224	72	9	3	308	72.7 (74.3)	23.4 (21.6)	2.9 (3.5)	1.0 (0.6)
7 ⑦毎日、あいさつができています。	175	93	34	6	308	56.8 (44.6)	30.2 (31.2)	11.0 (19.8)	1.9 (4.4)
8 ⑧廊下・階段は右側を静かに歩いている。	119	133	49	7	308	38.6 (37.6)	43.2 (41.9)	15.9 (17.7)	2.3 (2.8)
9 ⑨時間いっぱい掃除することや、用具の後片付けができています。	218	76	12	2	308	70.8 (66.4)	24.7 (25.7)	3.9 (6.4)	0.6 (1.5)
10 ⑩いじめをしないで、友だちとなかよく過ごすことができた。	255	42	9	2	308	82.8 (78.1)	13.6 (17.8)	2.9 (3.5)	0.6 (0.6)
11 ⑪学校生活をより良くするために、学級会や係活動などに進んで取り組んだ。	173	106	24	5	308	56.2 (59.0)	34.4 (31.6)	7.8 (7.7)	1.6 (1.7)
12 ⑫児童集会に楽しんで(進んで)参加した。	205	74	22	7	308	66.6	24.0	7.1	2.3
13 ⑬委員会活動に進んで取り組んだ。	73	26	6	1	106	68.9 (68.1)	24.5 (23.7)	5.7 (6.7)	0.9 (1.5)
12 ⑭朝読や家読等、楽しんで読書に取り組んだ。	138	92	66	12	308	44.8 (65.4)	29.9 (20.2)	21.4 (10.2)	3.9 (4.2)
13 ⑮音楽会に向けて、いっしょうけんめい取り組んだ。	225	68	13	2	308	73.1 (70.3)	22.1 (23.3)	4.2 (5.2)	0.6 (1.2)
14 ⑯体育の授業で進んで運動し、学習に取り組むことができた。	216	71	13	8	308	70.1 (67.3)	23.1 (23.9)	4.2 (7.9)	2.6 (0.9)
15 ⑰鬼ごっこ大会、ドッジボール大会等に進んで参加した。	221	54	22	11	308	71.8	17.5	7.1	3.6
16 ⑱進んで外遊びをしている。	121	61	60	66	308	39.3	19.8	19.5	21.4
17 ⑲友達と楽しく過ごしている。	274	27	3	4	308	89.0 (88.9)	8.8 (9.0)	1.0 (0.9)	1.3 (1.2)



《保護者用アンケート》

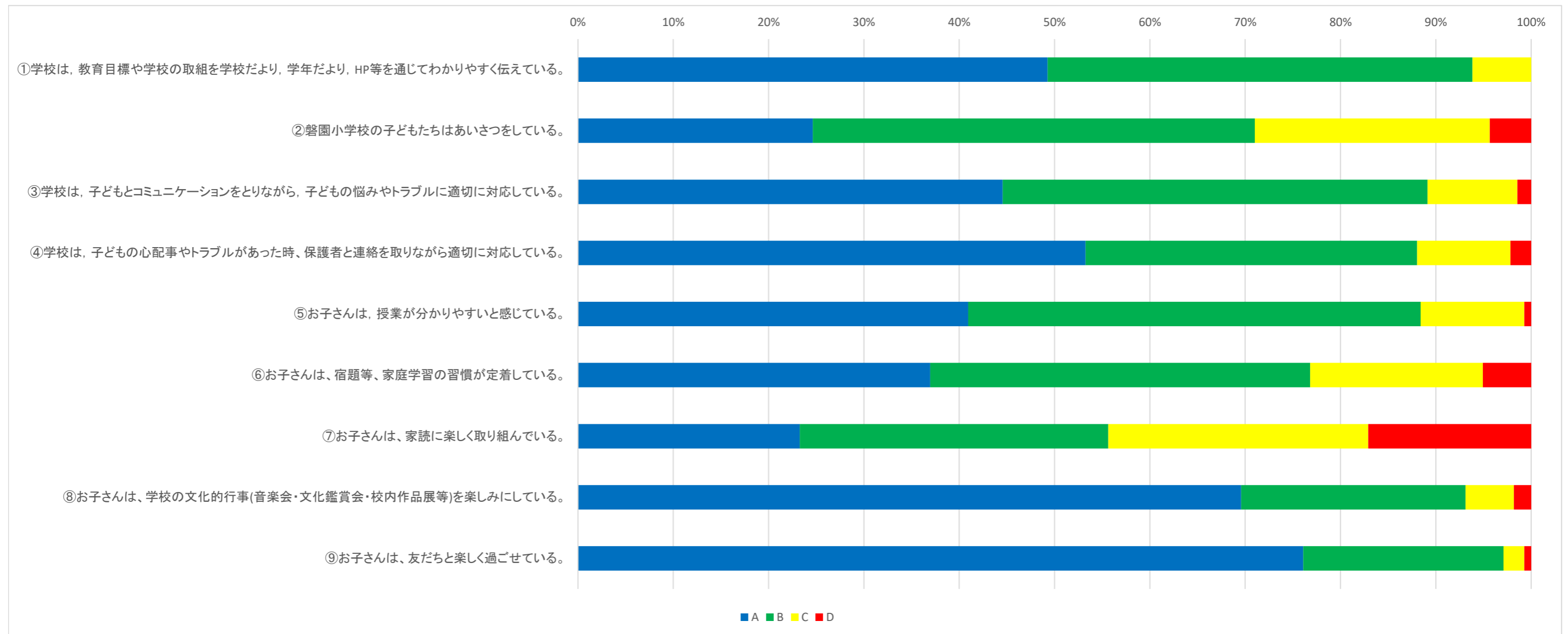
2023令和5年度
大和高田市立磐園小学校

A:そう思う B:どちらかと言えばそう思う C:あまり思わない D:思わない

単位は人

()は昨年度 %

	項目	A	B	C	D	計	A	B	C	D
1	①学校は、教育目標や学校の取組を学校だより、学年だより、HP等を通じてわかりやすく伝えている。	136	123	17	0	276	49.3 (47.5)	44.6 (47.5)	6.2 (5.0)	0.0 (0.0)
2	②磐園小学校の子どもたちはあいさつをしている。	68	128	68	12	276	24.6 (19.4)	46.4 (47.8)	24.6 (28.7)	4.3 (4.1)
3	③学校は、子どもとコミュニケーションをとりながら、子どもの悩みやトラブルに適切に対応している。	123	123	26	4	276	44.6 (40.5)	44.6 (49.4)	9.4 (10.0)	1.4 (0.0)
4	④学校は、子どもの心配事やトラブルがあった時、保護者と連絡を取りながら適切に対応している。	147	96	27	6	276	53.3 (41.7)	34.8 (45.2)	9.8 (9.0)	2.2 (4.0)
5	⑤お子さんは、授業が分かりやすいと感じている。	113	131	30	2	276	40.9 (41.7)	47.5 (48.3)	10.9 (8.7)	0.7 (1.2)
6	⑥お子さんは、宿題等、家庭学習の習慣が定着している。	102	110	50	14	276	37.0 (41.3)	39.9 (39.1)	18.1 (14.8)	5.1 (4.7)
7	⑦お子さんは、家読に楽しく取り組んでいる。	64	89	75	47	275	23.3 (46.2)	32.4 (29.2)	27.3 (17.3)	17.1 (7.4)
8	⑧お子さんは、学校の文化的行事(音楽会・文化鑑賞会・校内作品展等)を楽しみにしている。	192	65	14	5	276	69.6 (70.7)	23.6 (21.9)	5.1 (6.2)	1.8 (1.2)
9	⑨お子さんは、友だちと楽しく過ごせている。	210	58	6	2	276	76.1 (69.3)	21.0 (27.5)	2.2 (2.9)	0.7 (0.3)



《教員用アンケート》

2023令和5年度
大和高田市立磐園小学校

A:そう思う B:どちらかといえば、そう思う C:あまり思わない D:思わない

単位は人

()は昨年度 %

	項目	A	B	C	D	計	A	B	C	D
1	①各部で、共通理解に基づいた積極的な研修や取組をすすめている。【全体】	21	8	0	0	29	72.4 (60.0)	27.6 (40.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
2	②教育公務員としての服務規律を遵守し、校務において時間厳守が徹底できている。【個人】	20	7	3	0	30	66.7 (58.6)	23.3 (34.5)	10.0 (6.9)	0.0 (0.0)
3	③一人1台端末を活用した取組を積極的にすすめた。【個人】	15	9	2	0	26	57.7 (34.8)	34.6 (52.2)	7.7 (21.7)	0.0 (0.0)
4	④学校全体として働き方改革を意識し、在校時間短縮などの取組をすすめている。【全体】	10	14	3	2	29	34.5 (26.9)	48.3 (46.2)	10.3 (26.9)	6.9 (4.2)
5	⑤教材・教具、備品を適切に使っている。【個人】	21	9	0	0	30	70.0 (76.9)	30.0 (23.1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
6	⑥保護者の負担軽減を考慮して教材の購入を計画している。【個人】	17	10	0	0	27	63.0 (50.0)	37.0 (50.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
7	⑦児童にとってわかりやすい授業につとめた。【個人】	19	8	0	0	27	70.4 (63.6)	29.6 (36.5)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
8	⑧校内研究のテーマに沿って指導案の検討を行い、授業力向上に努めた。【個人】	21	6	0	0	27	77.8	22.2	0.0	0.0
9	⑨研修で学んだことを授業づくりに生かした。【個人】	19	6	0	0	25	76.0 (65.0)	24.0 (35.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
10	⑩基礎学力の向上に努めた。【個人】	19	8	0	0	27	70.4 (56.0)	29.6 (44.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
11	⑪学習の手引きを配布したり、学年だよりで学習状況を知らせたりして、家庭学習の定着を図っている。【担任】	12	9	0	0	21	57.1 (62.5)	42.9 (37.5)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
12	⑫教職員が保護者と連携を取りながら、人権意識を高める取組をすすめている。【全体】	16	13	1	0	30	53.3 (55.6)	43.3 (33.3)	3.3 (11.1)	0.0 (0.0)
13	⑬人権教育の課題について個々に研鑽に努め、授業づくりに生かした。【個人】	12	13	1	0	26	46.2 (37.5)	50.0 (62.5)	3.8 (0.0)	0.0 (0.0)
14	⑭学校全体で個に応じた合理的配慮に努めている。【全体】	18	12	1	0	31	58.1 (30.8)	38.7 (69.2)	3.2 (0.0)	0.0 (0.0)
15	⑮誰もが認められ、安心して過ごせる学級環境づくりに努めている。【担任】	20	6	0	0	26	76.9 (62.5)	23.1 (37.5)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
16	⑯児童は、あいさつが身についている。【全体】	4	24	3	0	31	12.9 (7.1)	77.4 (53.6)	9.7 (39.3)	0.0 (0.0)
17	⑰児童は、廊下や階段の右側を静かに歩くことができている。【全体】	4	23	4	0	31	12.9 (3.7)	74.2 (44.4)	12.9 (48.1)	0.0 (3.7)
18	⑱時間いっぱい掃除をすることや、用具の後片付けができている。【全体】	14	14	2	0	30	46.7 (27.6)	46.7 (62.1)	6.7 (10.3)	0.0 (0.0)
19	⑲児童支援委員会で学年間や部会等で配慮や支援を要する児童の共通理解を図り、適切な対応に努めている。【全体】	17	14	0	0	31	54.8 (53.8)	45.2 (42.3)	0.0 (3.8)	0.0 (0.0)
20	⑳配慮や支援を必要とする児童に対して関係機関や保護者との連携を密に進めている。【全体】	19	10	1	0	30	63.3 (51.9)	33.3 (48.1)	3.3 (0.0)	0.0 (0.0)
21	㉑いじめを絶対許さない、見逃さない集団づくりに取り組んでいる。【全体】	27	3	1	0	31	87.1 (59.4)	9.7 (40.6)	3.2 (0.0)	0.0 (0.0)
22	㉒児童が学級活動に主体的に参加するよう働きかけた。【担任】	16	8	0	0	24	66.7	33.3	0.0	0.0
23	㉓児童が児童集会に主体的に参加するよう働きかけた。【個人】	18	8	0	0	26	69.2	30.8	0.0	0.0
24	㉔児童が委員会活動に主体的に参加するよう働きかけた。【個人】	16	10	0	0	26	61.5 (30.4)	38.5 (65.2)	0.0 (4.3)	0.0 (0.0)
25	㉕児童が家読や読書貯金に主体的に取り組むよう働きかけた。【担任】	10	10	1	0	21	47.6 (58.8)	47.6 (35.3)	4.8 (4.8)	0.0 (0.0)
26	㉖読書好きな児童の育成に向け、読書環境を整えている。【全体】	14	14	1	0	29	48.3 (30.4)	48.3 (69.6)	3.4 (0.0)	0.0 (0.0)
27	㉗運動量を確保し、楽しく主体的に取り組める体育学習を工夫している。【担任】	7	9	0	0	16	43.8 (50.0)	56.3 (50.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)
28	㉘児童が外遊び集会(鬼ごっこ大会、ドッジボール大会等)に積極的に参加するように努めた。【担任】	16	5	0	0	21	76.2	23.8	0.0	0.0
29	㉙児童に外遊びを奨励するように努めた。【担任】	5	12	4	0	21	23.8	57.1	19.0	0.0
30	㉚運動を安全に楽しむために環境(遊具・体育備品等)を整えている。【全体】	14	14	1	0	29	48.3	48.3	3.4	0.0

